

1. 外部向け研修会・講習会・公開講座等の開催状況

(1)	第18回千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座		
担当部署	地域リハ推進部	対象	県民、関係機関職員、関係職種養成校学生他
目的	小児から成人、高齢者に至るまで、民間では対応が難しい障害のある方々の家庭復帰や社会復帰に向けて、医療・看護・リハビリ療法・福祉などの当センターの専門スタッフによる総合的リハビリテーションの様々な取り組みを広く県民に理解していただくことを目的とする。	日時	H30.7.21(土) 13:00~16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール他
		参加人数	174名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「動いて実感！感じて納得！リハビリテーション」 ・講演「リハビリテーションってなんだろう？」(センター長 吉永勝訓) ・講演「貯筋」筋肉づくりが決め手です～肺炎・転倒・骨折・認知症の予防のための栄養と活動のお話～ (副看護部長 古谷房枝) ・体験：職種や部署ごとにブース設置 ○障害者・高齢者体験(歩行・車いす体験) ○体重等測定 ○運動の紹介 ○栄養機能食品の試食 ○ドライビングシミュレーター体験 ○子供のリハビリ(スパイダー)の紹介・体験 ○ロボットリハビリの紹介 ○薬の飲み方等の工夫 ○肺年齢測定 ○立体型取り材の紹介・体験 ○ロービジョン(低視力)グッズの紹介・体験 ○スイッチの紹介・体験 ・デモンストレーション ○介助犬 ○簡単お団子作り ・展示 ○自助具・コミュニケーションエイドの展示 ○高次脳機能障害についての紹介 ○ボランティア活動紹介 ○更生園の紹介 ・見学 ○成人リハビリ室 ○小児リハビリ室 ○福祉用具展示室 			

(2)	第14回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会(千葉県受託)		
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	H30.9.28(金) 19:00~21:00
		場所	千葉市民会館B1小ホール
		参加人数	178名
<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「高次脳機能障害リハビリテーションのすすめ方」 講師：原寛美氏(医療法人社団 敬仁会 桔梗ヶ原病院 副院長 高次脳機能リハビリテーションセンター長) 			

(3)	第1回高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会（千葉県受託）		
担当部署	高次脳機能障害支援センター （千葉リハ高次脳機能障害地域生活復帰支援プロジェクト）	対象	高次脳機能障害の支援に携わる支援者（相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、訪問介護事業所等）
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域支援機関に向けた研修会を開催し、普及・啓発活動を行う事を目的とする。	日時	H30.10.26（金）13:00～16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	47名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義「高次脳機能障害の特性と対応について」（リハビリテーション療法部 三宅純子） 「高次脳機能障害の方の地域生活支援～生活版ジョブコーチ支援～」 （高次脳機能障害支援センター 理学療法士 揚戸薫） ・事例に基づくグループワーク ・千葉リハ更生園見学 			

(4)	2018 高次脳機能障害就労支援研修会（ステップアップ講座）（千葉県受託）		
担当部署	高次脳機能障害支援センター （千葉リハ高次脳機能障害就労支援プロジェクト）	対象	福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	H30.11.22（木）13:00～16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 3階研修室
		参加人数	16名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義「高次脳機能障害者の就労に向けた取り組みーチャレンジ雇用の経験から見たことー」 （総務部マッチドオフィスマネージャー 大塚恵美子） ・グループワーク（事例検討） 			

(5)	第16回脊髄損傷リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	地域リハ推進部	対象	当事者、家族、支援者 介護福祉士養成校、看護師養成校、リハ標榜病院等の職員他
目的	自動車事故により脳外傷や脊髄損傷などの後遺障害を被った被害者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、被害者とその家族、支援者等への情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	H30.11.24（土） 13:00～16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール
		参加人数	125名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「～脊髄損傷者の生活を豊かに～」 ・講演「脊髄損傷のリハビリテーションの進め方～脊髄リハの基本と脊損リハセンターの取り組み～」 （副センター長 菊地尚久） ・シンポジウム「脊髄損傷者の排便管理の実際」（第三リハビリテーション科部長 浅野由美） 基本レクチャー「脊髄損傷者の排便管理の基本」（看護師 菅野宏子） シンポジウム「私の場合の排便管理」 シンポジスト：全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部 支部長 飯岡秀之氏 副支部長 露崎耕平氏 佐藤翔太氏 ・シンポジストとの情報交換 ・企業展示 			

(6)	痙縮治療に関する研修会		
担当部署	総務部	対象	医師、理学療法士、作業療法士、訪問看護師、ケアマネージャー等
目的	成人及び小児に対する当センターの痙縮治療の取り組みを紹介することで、痙縮治療に馴染みのない医療者に情報提供を行う。	日時	H30. 11. 28 (水) 18:30～20:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター大ホール
		参加人数	80名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「生活期における痙縮治療と千葉リハでの取り組みについて」(副センター長 菊地尚久) 「小児における痙縮治療 四肢麻痺症例を中心に 」(愛育園長 石井光子) 			

(7)	平成30年度地域リハビリテーション調整者養成研修(千葉県受託)		
担当部署	地域リハ推進部	対象	主に市町村、地域包括支援センター、保健センター、社会福祉協議会等の職員及び地域リハに興味のある関係者
目的	行政(市町村、地域包括支援センター等)の事業に地域リハ広域支援センター及び地域リハパートナーが協力する体制を整備するため、行政関係者に広域支援センターやリハパートナーとして主に携わるリハ専門職(PT・OT・ST)の理解を深める。併せて、地域リハ広域支援センターの認知度向上を図る。	日時	H30. 12. 13(木) 13:30～16:30
		場所	千葉市文化センター5階セミナー室
		参加人数	98名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義「リハビリテーション専門職の理解」 (一般社団法人千葉県言語聴覚士会 会長 吉田浩滋氏、 一般社団法人千葉県作業療法士会 会長 坂田祥子氏、 一般社団法人千葉県理学療法士会 会長 田中康之氏) ・講義「リハビリテーション専門職を活用した事例報告」 (市原市保健福祉部 地域包括ケア推進課 亀山美紀氏 松戸市健康長寿部 健康福祉会館 鈴木善雄氏 御宿町保健福祉課 保健事業班 高山英理子氏) 			

(8)	第15回高次脳機能障害リハビリテーション講習会(日本損害保険協会助成事業)		
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	当事者、家族 行政機関、医療機関、地域包括支援センター、就労移行・就労継続機関等の職員
目的	自動車事故、転倒、転落等による脳損傷に起因する様々な神経心理学的障害を有する高次脳機能障害者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	H31. 1. 12 (土) 13:00～16:00
		場所	千葉市文化センター3Fアートホール
		参加人数	142名
<ul style="list-style-type: none"> ・講演：「高次脳機能障害者の地域支援」 講師：野々垣睦美氏(特定非営利活動法人脳外傷友の会ナナ クラブハウスすてっぷなな 統括所長 作業療法士) ・シンポジウム：「地域で支えるこうじのう」 (市川市障害者支援課 黒岩さやか氏、 社会福祉法人印旛福祉会いんぱ障害者相談センター 佐藤美代子氏、 ちば高次脳機能障害者と家族の会 角田義規氏、 高次脳機能障害支援センター センター長 小倉由紀) 			

(9) 第2回高次脳機能障害就労支援研修会 (千葉県受託)			
担当部署	高次脳機能障害支援センター (千葉県リハ高次脳機能障害就労支援プロジェクト)	対象	福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	H31. 1. 25 (金) 13:30～16:30
		場所	全日警ホール (市川市八幡市民会館)
		参加人数	35名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義「高次脳機能障害概論」(リハビリテーション療法部 副部長 長谷川純子) 「高次脳機能障害の就労支援」(更生園 生活支援員 吉田大) 「就労支援の実際」(高次脳機能障害支援センター 作業療法士 前島潤子) 「就労支援事例と地域連携」(障害者就職サポートセンタービルド 梅田典子氏、岡田奈央子氏) 			

(10) 平成30年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修等事業 (千葉県受託)			
担当部署	総合相談部	対象	県内の相談支援専門員、保健師、訪問看護師等。今後地域においてコーディネーターの役割を担う予定者。
目的	人工呼吸器を装着している障害児その他日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児等に対する、地域の障害児通所支援事業所、保育所、放課後児童クラブ及び学校等における医療的ケア児等への支援を総合調整する者を要請することを目的とする。	日時	H31. 2. 2 (土) 9:15～16:50 H31. 2. 3 (日) 9:10～16:45 H31. 2. 5 (火) 9:10～16:35 H31. 2. 6 (水) 9:10～16:45
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール、研修室
		参加人数	H31. 2. 2～3 72名 H31. 2. 5～6 35名
<p>H31. 2. 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「障害児の特徴と疾病」(愛育園長 石井光子) 「重度障害児のリハビリテーション」(理学療法士 根岸理絵) 「重症児者の利用する福祉用具」(理学療法士 太田直樹) 「福祉用具の流れ」(社会福祉士 森戸崇行) 「医療的ケアに必要な重症児の療育支援」(保育士 北村由布子) 「医療的ケアに必要な重症心身障害者の日中支援活動」(保育士 東川暁子) 「本人・家族の思いと意思決定」(呼吸器ユーザー 野田 匠氏、野田玲子氏) 「医療的ケアに必要な重症児者の地域生活支援」(相談支援専門員 景山朋子・成田市障がい者福祉課 多田隆博氏) <p>H31. 2. 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「在宅障害児の看護」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏) 「本人・家族の支援のための基本概念」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏) ・愛育園・児童発達支援センター紹介 ・講義「医療的ケア児等コーディネーターの役割と活動イメージ」(相談支援専門員 佐藤郁夫) 「地域における多機関連携と支援体制づくり」(てとて相談室 加藤亜矢氏) ・グループワーク「地域における多機関・多職種連携」(看護局 池畑久美子、リハ療法部 伊藤孝子・福祉局 景山朋子) <p>H31. 2. 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習Ⅰ「医療的ケアの必要な重症心身障害児の相談支援と計画作成」 ・演習Ⅱ「医療的ケア児の就学支援における機関連携と支援者会議」(社会福祉法人りべるたす 理事長 伊藤佳世子氏、社会福祉法人ワナーホーム たんぼセンター 相談支援専門員 外川恵理氏、しおさいホーム 相談支援専門員 影山真琴氏、てとて相談室 相談支援専門員 加藤亜矢氏) 			

<p>母里子ネット 理事長 汐田千恵子氏 千葉リハセンター 相談支援専門員 景山朋子・森戸崇行・佐藤郁夫・永田佳代子)</p> <p>H31. 2. 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習Ⅲ「成人期を迎える医療的ケアの必要な重症者と家族への相談支援」 ・演習Ⅳ「千葉県の地域の実情に応じた支援体制整備」 (社会福祉法人りべるたす 理事長 伊藤佳世子氏、 社会福祉法人ワナーホーム たんぼぼセンター 相談支援専門員 外川恵理氏 しおさいホーム 相談支援専門員 影山真琴氏 てとて相談室 相談支援専門員 加藤亜矢氏 母里子ネット 理事長 汐田千恵子氏 千葉リハセンター 相談支援専門員 景山朋子・森戸崇行・佐藤郁夫・永田佳代子)
--

(1 1) 平成 30 年度小児等訪問看護師育成研修事業 (重症児を受け入れる訪問看護師等研修) (千葉県受託)			
担当部署	総合療育センター	対象	重症児の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等。在宅療養の障害児に関わる、又は関わる予定のある相談支援事業所等の職員等。
目的	医療的ケアが必要な小児が地域で安心して在宅医療ができるように訪問看護等を行う看護師等を育成することにより、障害児等の福祉の向上を図ることを目的とする。	日時	1 回目 H31. 2. 2 (土) 9:15～16:50 H31. 2. 3 (日) 9:10～16:45 2 回目 H31. 2. 24 (日) 9:15～15:45
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール、研修室、病棟
		参加人数	1 回目:44 名 2 回目:19 名
<p>H31. 2. 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「障害児の特徴と疾病」(愛育園長 石井光子) 「重度障害児のリハビリテーション」(理学療法士 根岸理絵) 「重症心身障害児者に対する座位保持装置の評価と実際(リハ職対象)」 (理学療法士 大矢祥平・作業療法士 高波博子) ・実技「座位保持装置採型器による採型体験・張り調整体験・各種座位保持装置の説明(リハ職対象)」 (理学療法士・作業療法士) ・グループワーク「事例を通じたディスカッション(リハ職対象)」(理学療法士・作業療法士) ・講義「重症児者の利用する福祉用具」(理学療法士 太田直樹) 「福祉用具の流れ」(社会福祉士 森戸崇行) 「医療的ケアの必要な重症児の療育支援」(保育士 北村由布子) 「医療的ケアの必要な重症心身障害者の日中支援活動」(保育士 東川暁子) 「小児看護の役割と目標(看護職対象)」(千葉大学大学院看護研究科 中村伸枝氏) 「本人・家族の思いと意思決定」(呼吸器ユーザー 野田匠氏、野田玲子氏) 「医療的ケアの必要な重症児者の地域生活支援」 (相談支援専門員 景山朋子・成田市障がい者福祉課 多田隆博氏) <p>H31. 2. 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「在宅障害児の看護」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏) 「本人・家族の支援のための基本概念」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏) ・愛育園・児童発達支援センター紹介 ・講義「医療的ケア児等コーディネーターの役割と活動イメージ」(相談支援専門員 佐藤郁夫) 「地域における多機関連携と支援体制づくり」(てとて相談室 加藤亜矢氏) 「小児看護の倫理(看護職対象)」(小児看護専門看護師 尾上望) ・グループワーク「地域における多機関・多職種連携」 (看護局 池畑久美子、リハ療法部 伊藤孝子・福祉局 景山朋子) 			

(12) 第12回千葉県地域リハビリテーションフォーラム(千葉県受託)			
担当部署	地域リハ推進部	対象	通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、リハビリテーション科標榜病院、地域包括支援センター、市町村担当課、社会福祉協議会、県内の理学療法士・作業療法士養成校、広域支援センターの職員、地域住民
目的	千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業により、地域リハビリテーションに関するフォーラムを通じて、関係機関の医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等に地域リハビリテーション等に関する情報提供、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	H31.2.16(土) 10:00~16:30
		場所	千葉市文化センター アートホール
		参加人数	182名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「地域住民と創る地域リハビリテーション」 ・講演「地域リハビリテーションの基本～地域住民も含めた活動～」(センター長 吉永勝訓) ・報告「みんなで取り組む地域づくり(住民の活動報告)」 (特定非営利活動法人 袖ヶ浦げんきか〜い 置田和子氏、 はつらつ筋トレ・グリーンヒル 木村泰子氏、村上 繁氏、 和希楽会 前林弘行氏) ・特別講演「人材育成の観点から見た地域貢献活動の意義」(小倉リハビリテーション病院 院長 梅津 祐一氏) ・ポスターセッション：26 演題 ・シンポジウム「千葉県の地域リハビリテーション支援体制への期待」 (いすみ市健康高齢者支援課 鈴木一夫氏、 印西市健康福祉部健康増進課 小塚典子氏、 市川市福祉部障害者支援課 池澤直行氏) 			

(13) 第1回小児高次脳機能障害支援者向け研修会(千葉県受託)			
担当部署	高次脳機能障害支援センター (千葉リハ小児高次脳機能障害プロジェクト)	対象	高次脳機能障害の子どもの支援に携わる医療・福祉・教育・行政関係等の支援者
目的	当センターが実践する子どもの高次脳機能障害の支援を紹介し、支援の普及啓発に資すること。第1回目である今回は医療的なリハビリテーションに焦点を当てる。	日時	H31.2.23(土) 13:00~16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター大ホール
		参加人数	71名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義<小児高次脳機能障害概論> 「小児の高次脳機能障害-基本編」(第二小児神経科部長 湧井敦子) 「子どもの高次脳機能障害支援の流れ」(児童発達支援センター 森戸崇行) <リハビリテーションの実際> 「運動を通じた高次脳機能障害のリハビリテーション」(言語聴覚士 廣瀬綾奈) 「注意機能・視覚認知機能のリハビリテーション」(作業療法士 川人圭将) 「子どもの失語と記憶のリハビリテーション」(言語聴覚士 廣瀬綾奈) 「心理カウンセリングと家族支援」(心理発達治療士 中島友加) 			

(14)	第4回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会(C-RAT)研修会 (同協議会構成団体及び事務局として実施)		
担当部署	地域リハ推進部	対象	千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会構成団体の他、県・市町村の災害対策・障害者・高齢者担当主管課、職能団体、地域住民(避難所運営委員、自主防災会など)他
目的	行政・他団体に対するC-RATの名称・活動内容の周知、災害リハビリテーション活動の啓発、災害・防災関連団体などとの情報交換の場を提供し、災害リハビリテーションの充実を図ることを目的とする。	日時	H31.3.8(金) 14:00~16:15
		場所	千葉市文化センター9階 会議室2・3・4
		参加人数	47名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「～リハビリテーションは災害時に何ができるか～」 ・講演「千葉県における災害リハビリテーションについて」 (C-RAT 会長 吉永勝訓(千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長)) ・講演「平時の活動～行政や他団体との連携促進～」(C-RAT 幹事 坂田祥子氏(千葉県作業療法士会 会長)) 「有事の活動～熊本地震派遣時の災害リハ活動例～」(医療法人社団弥生会 栗ヶ沢デイホーム 副施設長 平山淳一氏(千葉県言語聴覚士会 災害リハビリテーション委員長)) 			

(15)	第12回高次脳機能障害と自動車運転勉強会(千葉県受託)		
担当部署	高次脳機能障害支援センター (千葉リハ成人高次脳機能障害支援プロジェクト)	対象	高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する支援を行っている方及びこれから支援を行おうとしている方。
目的	高次脳機能障害支援普及事業の一環として、自動車運転再開に関する支援者の育成、研鑽、情報提供を行う。	日時	H31.3.9(土) 13:00~16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 3階研修室
		参加人数	36名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義「当センターにおける高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する評価・支援の取り組み」 (作業療法士 石田理江子) 「千葉リハでの運転支援の紹介～J-SDSA、フォローアップアンケート～」 (高次脳機能障害支援センター センター長 小倉 由紀) 「船橋市立リハビリテーション病院における自動車運転再開支援の取り組みについて」 (船橋市立リハビリテーション病院教育研修部作業療法士部門チーフ 石垣 賢和氏) 「運転以外の代替手段について～講義・グループワーク～」 ・ドライビングシミュレーターの紹介・体験 			